

試験研究(事後)評価整理表

試験研究機関名 衛生研究所

所管課 薬務課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	3-Ⅱ-(1)健康づくり・健康管理	感染症対策	ダニ媒介性感染症の検査体制の構築と福島県におけるリスク分析	ダニ媒介性感染症の県内における潜在的リスクを明らかにし、県民に対して具体的な注意喚起を行うための情報の提供、疑われる感染症が発生した際の適切迅速な検査を可能にするため、つつが虫病をはじめとしたダニ媒介性感染症の総合的な検査体制の構築および県内のダニ媒介性感染症の侵淫状況を明らかにすることを目的とする。	1. ダニ媒介性感染症の遺伝子検査系の整備 2. リケッチアの培養法の確立とダニ媒介性感染症の血清抗体価測定法の整備 3. 過去につつが虫病抗体価検査を実施した血清および地域毎の健康者血清の抗体価測定 4. ダニ生息状況調査及び病原体保有調査	H28	H30	A	遺伝子検査による迅速な検査系及び培養法の確立による抗体検査法の整備により、ダニ媒介性感染症の検査体制を構築した。また、ダニ生息状況調査及び病原体保有調査を実施し、県内におけるダニ媒介性感染症のリスクを明らかにし、目的を十分に達成した。	国内では人口の減少に伴い、里山の荒廃も進みつつあり、野生動物の市街地への侵入も危惧されている。そのような状況では野生動物に寄生するマダニ等のダニがペットとして飼育される犬や猫に寄生する機会も増え、そこから人へのSFTSやリケッチア等の重篤な疾病の感染の恐れもあることから、県内への紅斑熱群の侵入状況やダニの生息状況をモニタリングしていくことは重要であり、県民への侵入状況周知や発生時の診断方法の確立等ダニやツツガムシが媒介する疾患のリスクに応じた体制の整備に繋がる重要な研究であったと考えられる。

試験研究機関名 林業研究センター

所管課 農業振興課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
2	安全・安心を強化する取り組み	東日本大震災及び原子力災害からの復興	海岸防災林の早期復旧に向けた植栽木の生育条件の解明と育成管理手法の検討	盛土資材など条件の異なる基盤への植栽試験や密度を変えた植栽試験を実施し、植栽条件等の解明や植栽密度の検討を行い、海岸防災林の早期復旧および健全な育成管理に資する。	・海岸防災林復旧事業と連携し、人工盛土への植栽試験を行い、生育に適した条件及び植栽適期等を明らかにする。 ・密度別植栽試験を行い、低密度植栽について検討する。	H26	H30	B	海岸防災林造成における盛土資材や樹種による初期成長を調査した結果であり、結果の一部は事業への活用も行われた。今後も植栽木の調査を続けることで、海岸防災林の維持管理にも活用が期待される。	早期の造成が求められている海岸防災林の植栽に関して、人工盛土の土壌の物理性や適正な施肥、樹種選択が問題となっている。本研究では、これらについて検討したものであり、森林学会における成果発表も行われている。海岸林造成に関して必要な知見が得られた。